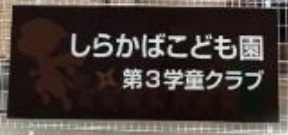




しらかばこども園



がくどう
学童クラブ



社会福祉法人 誠心会

学童クラブはどんなところ？

学童クラブの正式名称は、「放課後児童健全育成事業」と言い、保護者が労働あるいは疾病や介護等により、昼間養育できない子どもたちが、放課後や学校休業日に通うところであり、家庭の代わりとなる生活の場です。

学童クラブの3つの役割

家庭支援

子どもたちを保育することを通して、また、保護者の方とも関係をはぐくむ中で、子どもと保護者をつなぐパイプ役となれるように、子どもの生活が、家庭につながるように、支援をしていきます。

子どもにとっての一番の安全基地は家庭であるものです。
学童クラブは、その安全が守られる第二の場、家庭を補完する場であると考えます。

児童支援 (保育・養育)

保護者がお迎えに来るまでの間、子どもたちを安全に見守ります。

子どもたちが、安心を感じながら生活をし、人間関係や社会性を学び、健全な育成を図れるように生活づくりをしていきます。

また、創造力・想像力が引き出していくるように、子どもの可能性を信じて、支援をしていきます。

保護者支援

就労等で、保護者の方が昼間養育できない部分の、子どもの健全育成をお手伝いします。

保護者の方は、子どもにとって最愛の人であり、唯一無二の存在です。

保護者とともに子どもの成長を喜び合い、困ったときに頼れる存在となれるように、努めてまいります。

支援者はどんな人？

学童クラブには、「支援員」と「補助員」が子どもたちの保育にあたります。

支援員とは、放課後児童支援員の略称です。学童クラブで子供たちの成長を見守る専門職としての資格となります。

補助員は、放課後児童支援員の資格を持たない、支援員を補助する役割の人のことです。

放課後児童クラブ運営指針には、従事する者は、立場は関係なく、研修等を受け、自己研鑽に励み、資質の向上に努めていくようにとされています。



コンセプト ～しらかば学童クラブとしての方向性～

学童クラブは、「保護者とともに子育て」をしていくための場であると捉えています。

私たち学童クラブでは、「結(ゆい)」の考えを大切にしています。

「結(ゆい)」とは、—お互いに助け合い、結びあう—という意味の言葉です。

人と人がつながっていることで、絆が生まれ、それは安心感につながります。
安心できる人たちの集まる場所にいることで、安全が確保され、相互の助け合いがあること、
その関係が長く続くようにと結びあうことで、安定感を強めます。

子どもは、【安心(絆)・安全(和)・安定(結)】という「愛情」の中で、
イマジネーション(想像力)とクリエイティブ(創造力)を発揮し、
自ら成長していくと信じています。

本学童クラブでは、子どもの
イマジネーション(想像力)と、クリエイティブ(創造力)
を引き出していけるように、子どもの可能性を信じて、
支援していきます。

施設の紹介



第一学童クラブ

主に大津小学校の
児童が過ごしています。

しらかば結一の
ワンフロアの保育室では、同
じ空間で過ごしているからこそ、

かかわりが広がり、自然と仲間になっていけるところが、
第一学童クラブの特徴です。

こども園の中に入っている学童なので、園児さんと
関わることができ、園の玩具でも遊ぶことができます。



第二学童クラブ

主に根岸小学校の児童が
過ごしています。

おうち型の学童クラブで、
1階でおやつと宿題、終わつた
ら2階で遊びます。

普段は好きなことをして過ごしていますが、いざと
なると、高学年が下級生を引っ張ってくれ、クラブ全
体にまとまり感が生まれます。

子どもたちと支援員みんな合わせて学童クラブの
一員、同志です。



第三学童クラブ

大津小学校と根岸小学校の混合学童クラブです。
部屋は2階建てで広いので、部屋の使い方を工夫しながら、ゆったりと時間を過ごして
います。
異学校混合学童ならではの交流があり、交友関係の幅が広がります。

しらかば学童クラブとして大切にしていること

子どもが子ども時代に子どもらしく
いるということを大切に

自分を大切にすることを覚えてほしい
と思っています。

自分を大切にすることは、
自分の心にうそをつかないこと。
思ったことが表現できること。
自分の考えを信じること。
そして、周りに助けを求められること。

その環境を作るのが養育者であり、
その表現を適切に導いていくのも
養育者の役目であると考えています。

イマジネーション(想像力)
と
クリエイティブ(創造力)
を伸ばしていく

自分の気持ちを表現したくても、まだ子どもたちが
知る世界は小さく、見えていないものが多いあります。

生活の中で、養育者が知識の種を蒔きながら、
子ども自身の可能性を見極めていくことで、
子どもたち自身で様々なことを吸収し、学びに変え、
育っていきます。

イマジネーション(想像力)とクリエイティブ(創造力)が
育まれることで、子どもの感性が磨かれ、表現力も上がります。

そうすることで、子どもがより、自分を理解し、
自分を大切にできるようになると信じています。

好奇心を持ち、新しいことに 挑戦したいと思える心を育む

信頼のおける養育者と環境があることが子どもにとっての土台となり、
子どもは**安心・安全・安定**を感じることができると考えます。

それは**愛情**であり、満たされている状態であると、
子どもたちの中に**守られている**という感覚が生まれます。

自分自身を信じることができ、自分を信じてくれる人がいる。自分が肯定されている。

直接感じられはしないかもしれませんが、そう感じられている時、
子どもが**失敗を恐れずに新しいことに挑戦しよう**と思えるようになります。

挑戦とは、自分自身で知らないことに飛び込み、学びを得る大切な機会です。

実体験で得た学びは人を成長させます。そこで得るものは、**成功とは限りません**。

挫折経験は、人生において、人として**必要不可欠**です。

そこに**守られる環境**があることで、
挫折を乗り越えられるのです。

この**3つの柱**が、**子どもたち一人ひとり**が
大人になった時に
必ず生きてくるということを**信じて**
支援を行っていきます

一日の流れ

学童クラブは、生活の基盤が家庭にある子どもたちの、「放課後」という、子どもたちのゴールデンタイムとなる時間を過ごすための場所です。

子どもたちにとっては、学校から疲れて帰ってきて、ホッとでき、心と身体に栄養をたくわえ(おやつ)、やるべきことをやり(宿題や整頓)、自由に遊ぶことのできる時間は、必要不可欠であると考えます。

支援員は、そんな子どもたちを、生活を通して、共に喜び合い、分かち合い、時に遊び、時に厳しく、メリハリをもった生活リズムを身につけていけるように見守っていきます。

学校がある日



ただいま～!
ランドセルをかけたら
手洗い・検温!

低学年は習慣がつくまで、遊びの前に宿題を終えられるように促しています。

中学年以上になると、自ら生活の見通しを立てていくことも尊重し、保護者の方とも協力をしながら、子どもたちの成長を見守っていきます。



来所	手洗い・カードタッチ
	宿題を行う
	学室内で自由に過ごす
15:00～	おやつ
	宿題が終わっていない場合は宿題を行う
宿題終了後～	自由時間
お迎え	カードタッチ
19:00	閉所

「さくらメッセージ放課後STAY」の来所・退所通知サービスを行っています。

保護者の方には、スマートフォンのアプリをご登録いただきます。出欠の連絡、学童からのメッセージの確認がアプリでできます。



一日過ごす日

8:00	開所
来所	手洗い・カードタッチ
9:30	出欠確認
10:00～	宿題・学習の時間
	自由時間
12:00～	昼食
	掃除・休憩
	自由時間
15:00～	おやつ
	自由時間
お迎え	カードタッチ
19:00	閉所

給食・おやつは、こども園の調理室で作っているものなんだって～!



自由時間

それぞれが自由に好きなことができる時間です。
遊んだり、おしゃべりをしたり、本を読んだり…外へ遊びに行くこともあります。
学童は、なにかをできるようにする場所ではありません。そのため、指導をしたりすることはありませんが、子どもたちは、遊びや共同の中で、自然と新しいことを覚えて、成長していきます。



年間行事

学童クラブでは、季節ごとにイベントを行います。
毎年恒例の行事もありますが、その年度ごとに行われる行事が変わります。
年間行事の一例です。

ドキドキ!
ワクワク!



🌸4月🌸
新入生歓迎会
1年生下校見守り(1週間)



🌸3月🌸
お別れ会



🍧7・8月(夏休み)🍉
水遊びをしたり、製作・実験・
夏祭りや、外出などの
イベントがあります!



🎄12月👨
お楽しみ会
大掃除



防災訓練もして
いるんだね!

🎃10月👻
小学校運動会振替休日に
ハロウィンパーティを開催!



しらかばこども園 学童クラブ Q&Aコーナー



しらかば学童のこと、
もっと知りたいな～!

今から、みんなの質問に
答えていきます!



【入会・継続について】



何年生まで入所できますか?

小学1～6年生までが対象です。

高学年になると、習い事も増えたり、お留守番ができる子は、
利用日数が減ることもありますが、6年生までが対象となっています。

高学年は、下級生を引っ張ってくれる心強い存在です♪



第一～三学童クラブありますが、移動はできますか?

次年度に定員人数に空きがあれば、可能です。

移動は、年度途中は原則できませんが、希望する学童クラブが、
次年度空きがある場合は、移動することも可能です。

学童クラブには、市で決められた定員人数があります。

決定は、次年度名簿発表時になります。

詳しくは支援員までご相談ください。



兄弟で別の学童クラブに通うことはできますか?

次年度に定員人数に空きがあれば、可能です。

第一～第三学童クラブは、それぞれ独立した事業となります。

そのため、定員に空きがありましたら、別の学童に通うことは
可能ですが、その場合は、兄弟児割引の適用外となりますので、
事前に支援員まで、ご相談ください。



【学童での生活面について】



宿題をする時間はありますか？教えてもらえますか？

学童クラブは、生活の場です。

学童クラブは、塾や習い事とは違い、子どもたちが生活をする第二のおうちという位置づけになります。

支援員は、「先生」ではないので、学習を教えることはできませんが、子どもたちに宿題の習慣づけのために声掛けや、わからない問題に、一緒に向き合います。

時間については、低学年には、習慣づけを意識して声を掛けますが、高学年に向けて自立を尊重し、個々が見通しの持てる生活を大切にしていきます。



自宅のおもちゃを持っていても良いですか？

小学校で必要なものだけを持参ください。

学童クラブは、学校が終わった放課後に子どもたちが帰ってくる場所です。学校で使わないものは、持ち込まないようにお願いしています。

長期休みの際も、同様です。

学童には、おもちゃがあります。各家庭でのおもちゃの破損やトラブル等には、クラブでは責任が負えませんので、ご協力をお願いします。



スマートフォンやキッズ携帯の持ち込みはできますか？

持込申請書をご記入いただき、小学校で持込許可が出てから、クラブへの持ち込みも可能となります。

ただし、クラブ内では、カバンから出さないようにお願いしていますので、何かありましたら、学童クラブまでご連絡ください。



【食事について】



好き嫌いが多いのが心配です。

子どもの可能性を信じつつ、無理のない範囲で食べられるように声をかけています。

学童クラブでのおやつ・昼食は、基本的には調理室からの手作りとなります。「全く食べない!」のではなく、無理のない範囲で、一口だけでも味見ができれば、食べれるものが増えるかもしれません。その可能性を信じて、心身の栄養補給に心掛けています。



お弁当を持参することはありますか？

急な休校や、習い事で昼食時間がずれてしまう場合などで、持参をお願いすることがあります。

基本的には調理室からの給食を食べますが、衛生の関係上、給食には提供できる時間が決まっております。
台風などの急な休校の時や、習い事で、給食の時間に間に合わない場合は、ご持参いただく場合があります。
ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



アレルギーがある場合はどうしたらよいですか？

アレルギー診断書の提出をお願いいたします。

本園の調理室は、アレルギーの児童へも食事の提供を行っています。

毎年調理室からアレルギーに関する書類が渡されますので、診断書とともに提出をお願いいたします。

命にかかわる大切なことなので、個人情報の保護に努め、支援員と調理室は密に連携を行っていきます。



＊しらかばこども園学童クラブのロゴマークについて＊

このパンフレットに登場しているクラブのロゴマークは、在籍する子どもたちがアイデアを出し合い、集約したものを保護者の方が編集していただき、誕生しました。

忍者は、しらかばこども園から受け継いでいます。



【利用に際して】



下校の迎いのサービスはありますか？

本学童クラブは、自力で来所できることが条件とさせていただきます。

そのため、下校中等、学童外につきましても、責任を負いかねます。

帰ってきたお子様を受け入れます。また、帰りが遅いと判断した場合は、保護者の方と連絡を取り合いながら所在の確認をいたします。

ただし、1年生の始業式から1週間は、確認のため、お迎え期間を設けます。



習い事には送り出してもらえますか？

子ども自力での帰宅や、朝からの日に自力で来所はできますか？

自力帰宅・来所、習い事への出発は何歳からできますか？

支援員は、送り出しの声掛け、朝の受け入れをいたします。

下校同様に、学童外につきましても、責任を負いかねます。そのため、保護者の方の責任の下となりますので、学童側からの年齢制限は特にありません。声掛け、送り出しはいたしますので、支援員までご相談ください。変更がある場合は、必ずご連絡ください。



未成年の兄弟が迎えに行っても良いですか？

送迎者リストに記載がある方には、引き渡しをさせていただきます。

新年度に、送迎者リストの提出をお願いしています。引き渡した後の責任は負いかねますので、ご家庭での判断にてお願いいたします。



【心配なこと・気になること】



お友だちができるか心配です。

学童クラブに通う子どもは、いろんな気持ちをもって通っています。

最初から、みんな同じ気持ちというわけではありません。ですが、共に過ごしていく中で、自然と関わり合い、気づいたら、仲間になっているというのが、学童クラブなんだと思います。

「ここに来なかつたら、仲良くなつてなかつたよね」という話を聞くこともあります。

同級生だけではなく、他学年のお友だちや、支援員もいます。心配もあると思いますが、一歩、踏み出して、学童クラブに来てもらえたらうれしいです♪



発達に心配がありますが、入会できますか？

支援級に通っているのですが、学童でも支援は受けられますか？

必要な手続きを満たしていただくと、支援員の加配ができ、見守り体制をより手厚くできます。

学童クラブは集団生活の場となります。

必要に応じて、一人ひとりに対する対応をすることもありますが、つきっきりで対応することは、集団生活の中で難しいことがあります。

支援を必要とする場合には、必要な要件を満たしており、手続きをしていただくことで、より手厚くお子様を見守ることができるようになります。

詳しくは支援員までご相談ください。



学校との連携について

小学校とは、必要に応じて連携をとれる体制づくりをしています。

特に、支援級に通うお子様の場合には、密に連絡をとれる体制をとっていきます。

通学路については、学校との共通認識のものとなります。

また、個別の対応につきましては、個人情報の保護のため、保護者の方と確認をとり、学校と連携が取れるようにしていきます。



しらかば学童について、少し詳しくなった気がするよ！

他にも気になることがあったら、支援員に尋ねてみてね！





しらかばこども
家庭支援ステーション

アクセス



※地図掲載以外に、しらかば逗子乳児保育園（小規模保育事業所A型／定員19名）があります。
〒249-0003 逗子市池田2-3-42 Tel.046 (854) 9570 Fax.046 (854) 9571

新大津駅から徒歩約10分 京急大津駅からも約10分

～順路～

- * 改札を出たら左方向へ進み、踏切を渡ります。
- * 道なりに歩き、階段を登ったら反対車線に渡り、坂を下ります。
- * 坂の下で、反対車線に渡ります。
- * そのまま右方向に進みます。
- * 二つ目の路地付近にしらかばこども園の看板が見えたら、その坂を登ります。
- * 坂に向かってすぐ近くに池田分園、途中左手に第三学童クラブ、もう少し行くと、右手に第二学童クラブ / しらかば家庭支援ステーション、登りきったところにしらかばこども園本園（第一学童クラブ）があります。

しらかばこども園本園
しらかばこども園第一学童クラブ



〒239-0806
横須賀市池田町
1-22-12

しらかばこども家庭支援ステーション
しらかばこども園第二学童クラブ



〒239-0806
横須賀市池田町
1-22-15

しらかばこども園第三学童クラブ



〒239-0806
横須賀市池田町
1-18-4

しらかばこども園学童クラブ (しらかばこども園本園)	046-834-0690
しらかばこども家庭支援ステーション	080-7938-6035

しらかばこども家庭支援ステーション ってどんなところ？

ホッとできる



あつたかいところであるようにと

願いをこめて…



しらかばこども園と学童クラブでは、
保育教諭や支援員が適切に支援ができるように、
同時に保護者にも子育て支援をするために、2021年度より、
しらかばこども家庭支援ステーションを開設いたしました。



家庭支援の観点から、あらゆる視点で人々をサポートする
一つの拠点として誕生し、支援を行っています。

家庭支援を出発点として、子ども支援・親子支援・保護者支援、
若手の育成、スーパービジョン、地域福祉、社会復帰など、
その人の一生涯にかかわる様々な問題や悩みに
寄り添い、ともに考え、解決策を考えていく
お手伝いをします。

ふくろうの親子が目印です

ふくろうは、「幸運の鳥」と呼ばれています。
このキャラクターは、
しらかばこども園学童クラブに通う子どもたちに協
力してもらい、誕生しました。

お母さんが、寄り添う子どもの肩を抱いています。



構成員

神奈川の児童分野で活躍されてきた児童福祉のエキスパートが、あらゆるジャンルに対応しています。子どもと家庭と一緒に、抱えている問題を自らの力で解決できるようにお手伝いしていきます。

ヒューマンサービスワーカー (心理士)

心の発達全般をチェックし、保護者の方と、地域のかかわり方へのアドバイスをします。

コミュニティ ソーシャルワーカー

生活状況に合わせて必要な支援と連携調整し、アドバイスしていきます。

子育て支援アドバイザー

あらゆる職種の資格を持つ職員による相談インフォメーション(受付)

それぞれの専門性で、保護者の方と一緒に子育てを考えます。



結婚して新たな土地に住み、親族は遠く、近所とは関係が希薄。子どもが生まれて、育児がはじまり、自分の時間は減っていきます。しかし、生活は続いていきます。様々な環境が予想されますが、**お母さんになると、「はじめて」が一気にスタートしていくのです。**

がむしゃらに毎日が進んでいき、ふと、疲れを感じたり、「どうしたらよいの?」と一人で悩んでいたり。どんな些細なことでも、気軽に頼れる場所もなければ、一人で苦しみの中に陥ってしまいます。

「子育て」は、みんなが素人からスタートするのです。最初からプロなんていません。

悩んで向き合って考えて、やっと子どもと気持ちが通って…

それが、子育てをすることの最大の報酬です。そうやって親子になっていくのです。

私たちは、そんなみなさまの力になりたい。ホッとできる場でありたいと思っています。

お母さんだけでなく、誰だって「どうしたらよいのか」「どこか頼れる場があれば」と思うことがあると思います。

老若男女問いません。皆さんの思いを話してください。

いっしょに考えて、解決策を考えていきましょう。

「ちょっと行ってみるか」とフラッと寄れるような場であり、皆さんの出発点になるようにと願いを込めて、

「ステーション」の名が命名されました。

いつか、苦しみを力に変えて、羽ばたける未来があると信じています。

にわかばこども 家庭支援ステーション



社会福祉法人 誠心会